



東南アジア越境ECを実施／検討している企業の
経営者・役員、担当者に聞いた！

東南アジア越境ECを実施（検討）
している担当者の**約8割**が
「物流課題」に直面！
物流課題の第1位は？

東南アジア越境ECでの物流管理に関する実態調査

Research Outline

調査概要

調査機関

Shopee Japan株式会社

調査名称

東南アジア越境ECでの物流管理に関する実態調査

調査方法

IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画による
インターネット調査

調査期間

2024年9月11日～同年9月12日

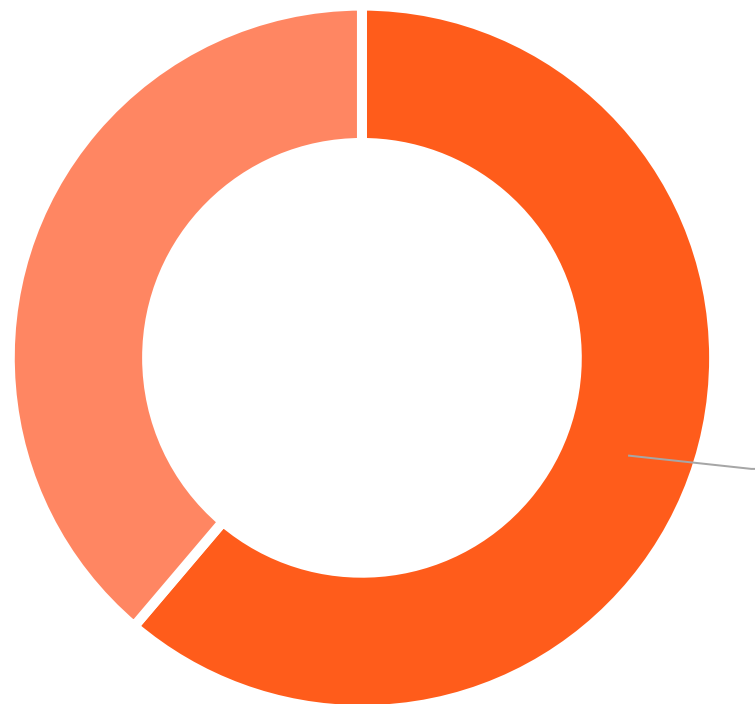
有効回答

東南アジア越境ECを実施している（検討している）企業の
経営者・役員、担当者515名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも
100とはなりません。

Q1 お勤め先では、東南アジアへの「越境EC」を実施、または検討していますか。

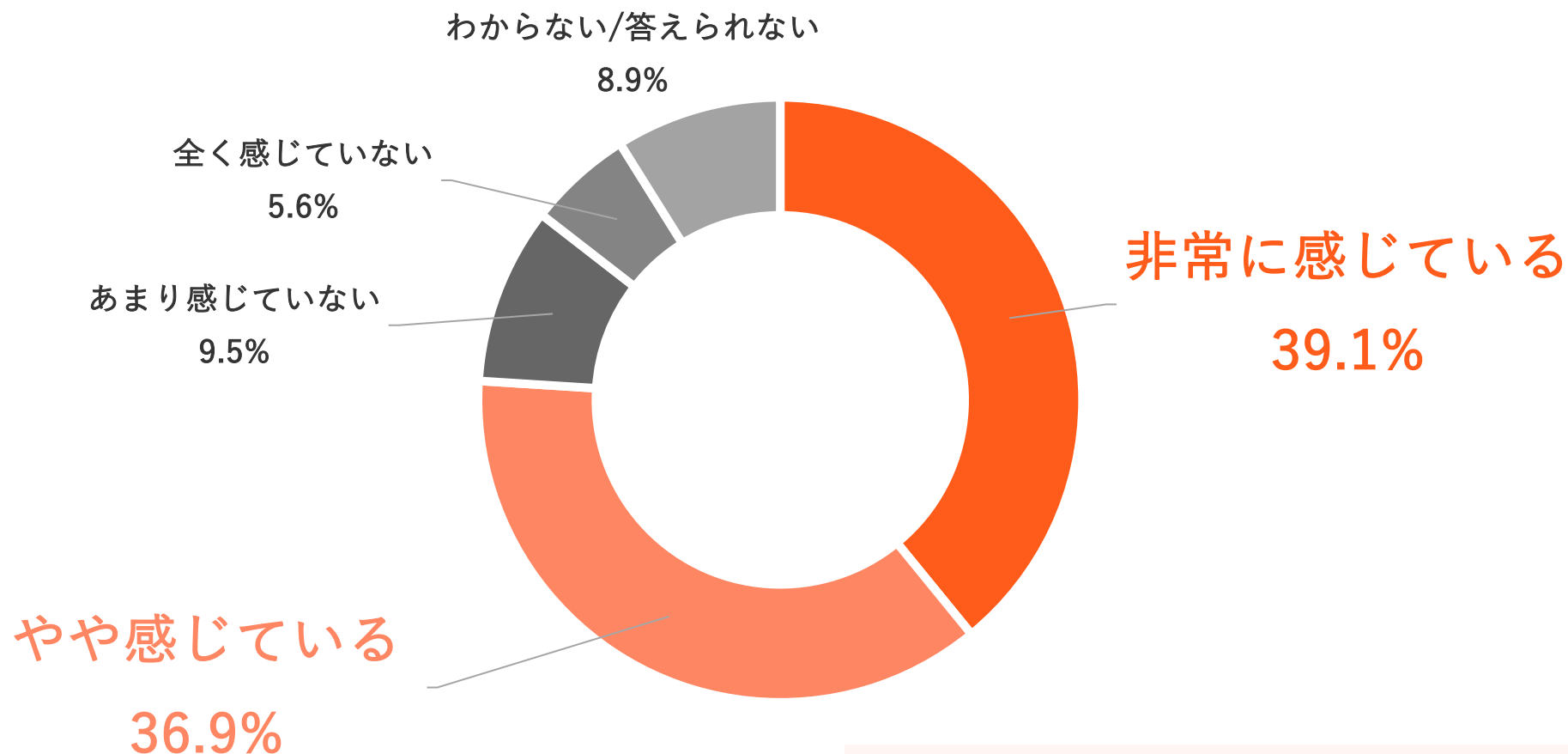
実施していないが、
今後実施する予定
38.8%



実施している
61.2%

勤務先における、東南アジアへの「越境EC」の実施状況、6割強が「実施中」、約4割が「実施予定」と回答しました。

Q2 お勤め先では、東南アジアの越境ECを行う（検討する）上で、物流に関して課題を感じましたか（感じていますか）。

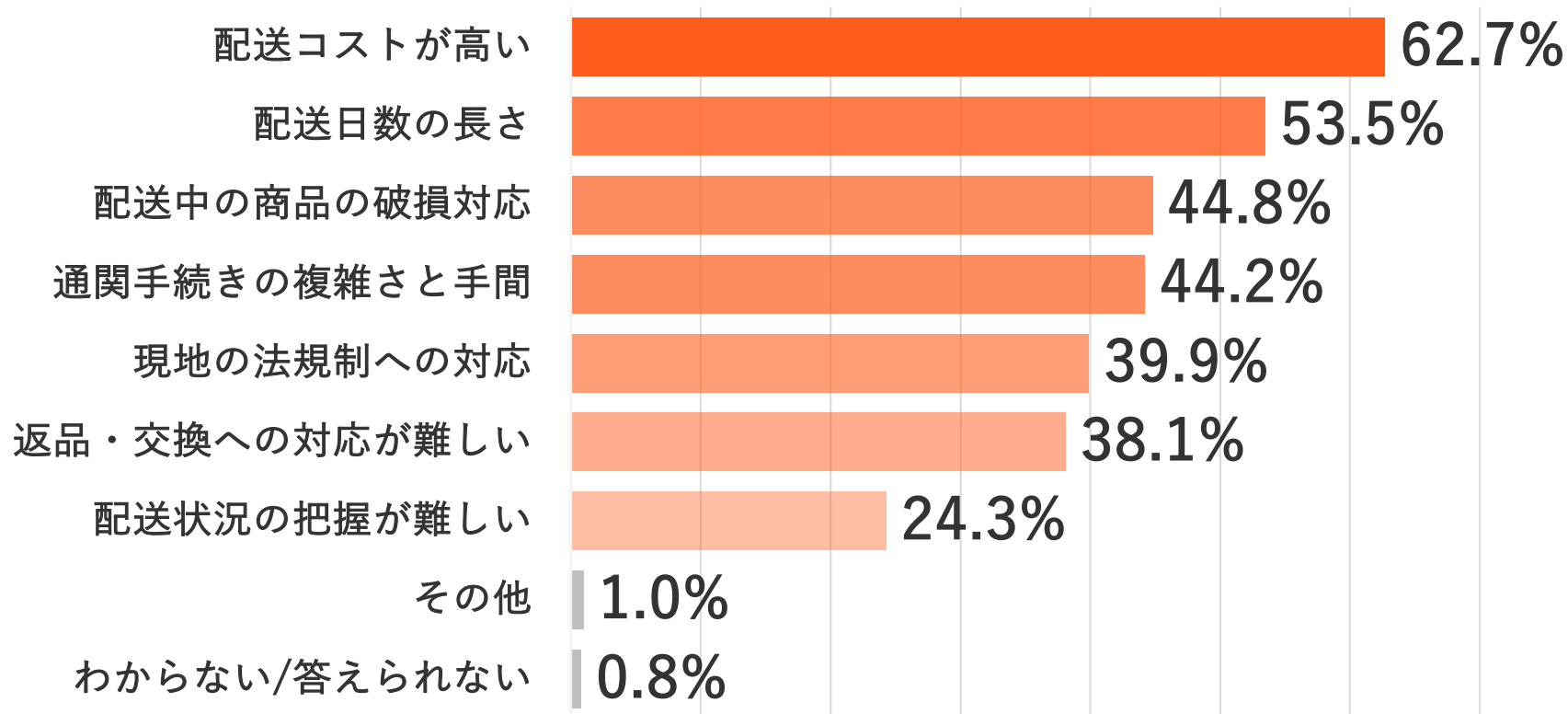


約8割が、東南アジアの越境ECを行う（検討する）上で、「物流」に関して課題を感じています。

Q3

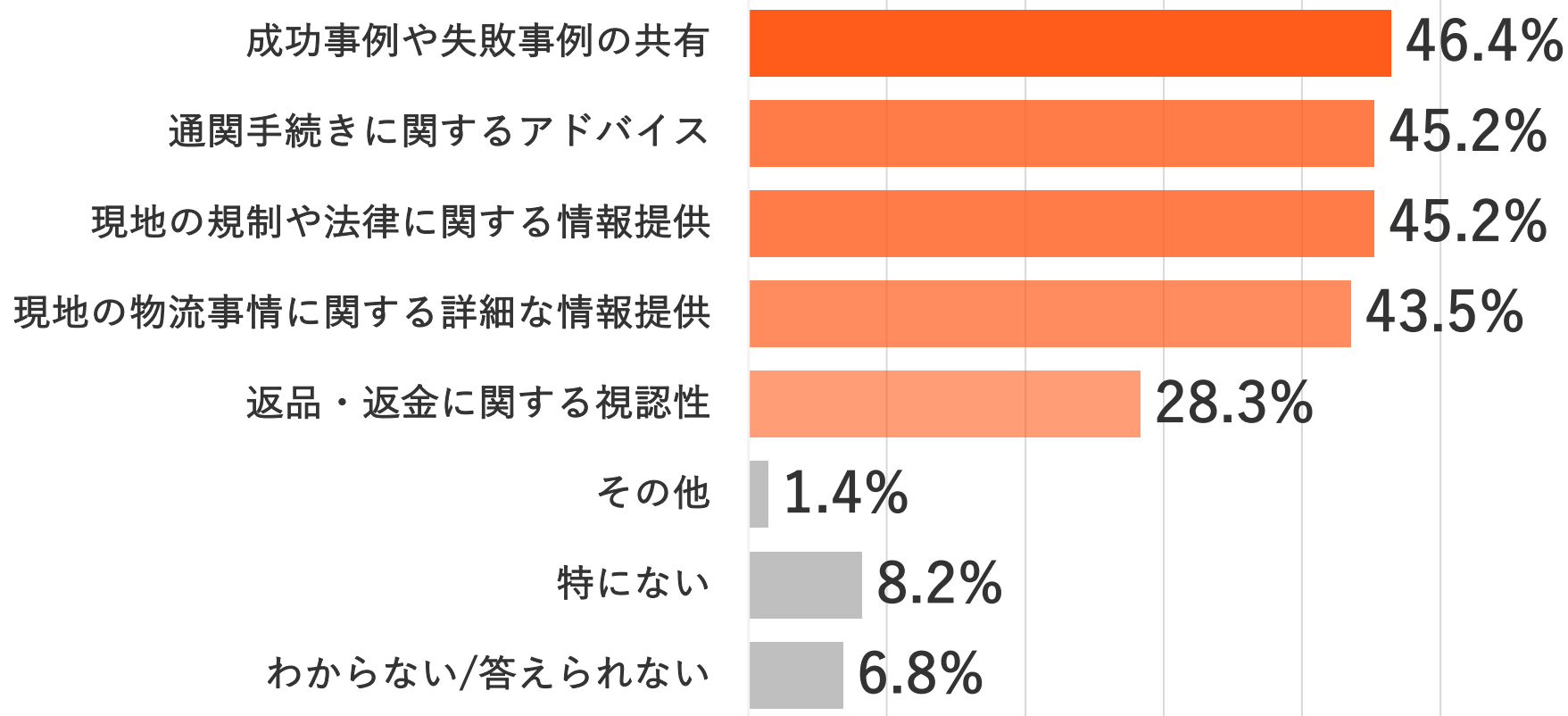
※Q2で「非常に感じている」「やや感じている」と回答した方に質問

お勤め先で東南アジアへの越境ECを行う（検討する）上で、物流に関して感じた（感じている）課題を教えてください。（複数回答）



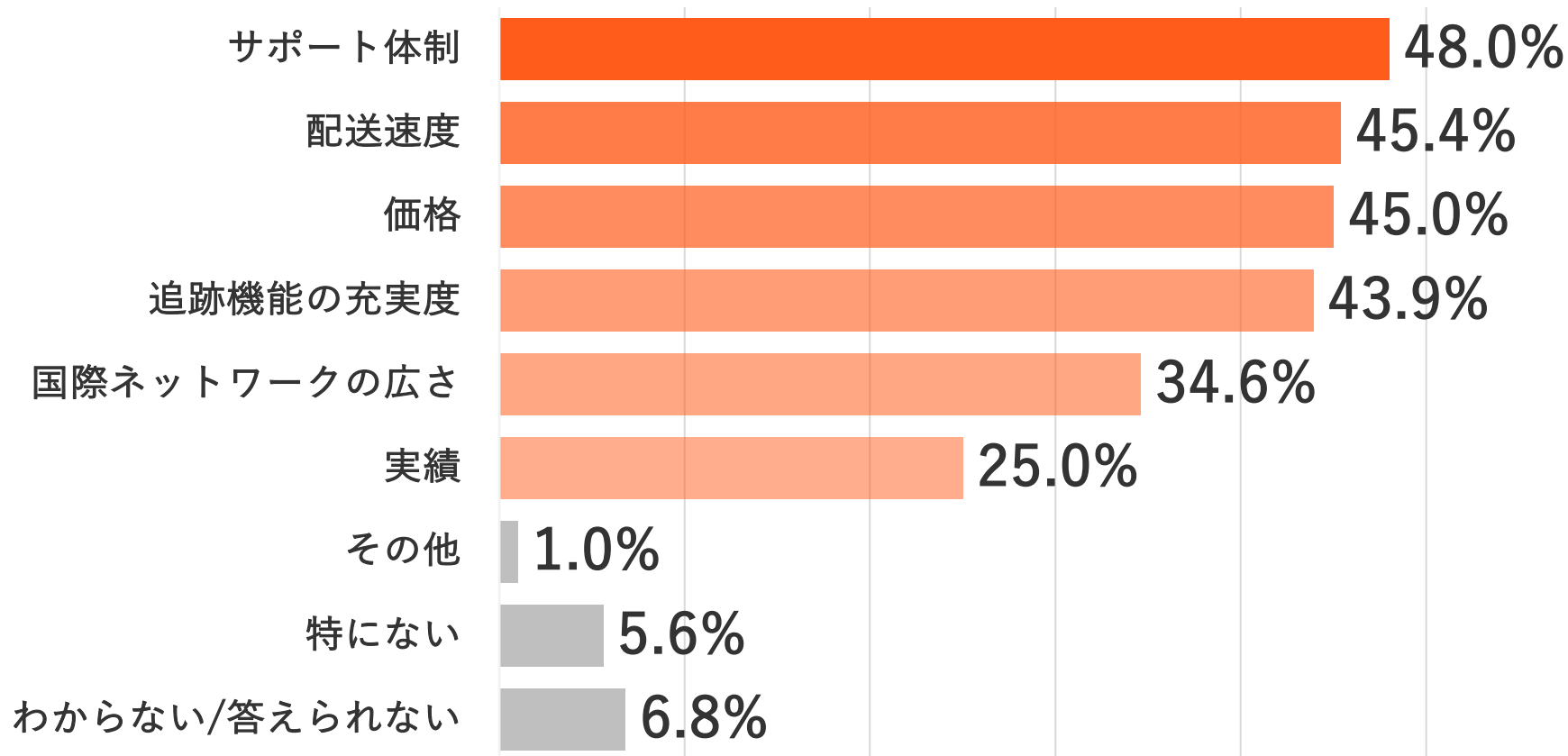
勤務先で物流に関して感じた（感じている）課題は、第1位「配送コストが高い」62.7%、第2位「配送日数の長さ」53.5%という結果になりました。

Q4 あなたは、東南アジア越境ECの物流に関する課題を解決するために、どのような情報や支援があれば有効だと思いますか。（複数回答）



東南アジア越境ECの物流に関する課題を解決するための有効な情報や課題は、「成功事例や失敗事例の共有」や「通関手続きに関するアドバイス」などが挙がりました。

Q5 越境ECで利用する配送業者を選定する際に重視した（重視する）点を教えてください。（複数回答）

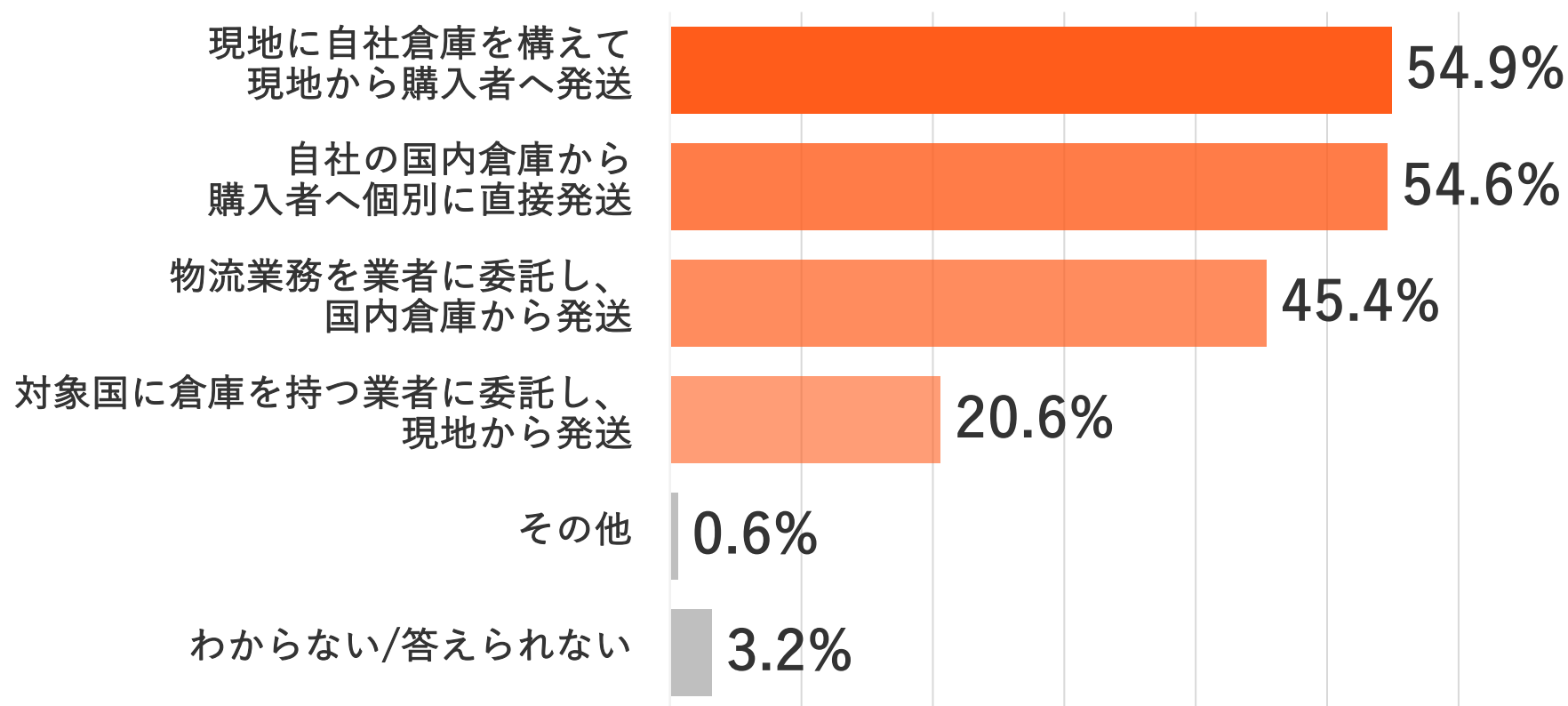


越境ECで利用する配送業者を選定する際に重視した（重視する）点は、「サポート体制」「配送速度」「価格」が上位という結果になりました。

Q6

※Q1で「実施している」と回答した方に質問

あなたのお勤め先で、東南アジア越境ECでの商品発送方法として、現在採用しているものを教えてください。（複数回答）

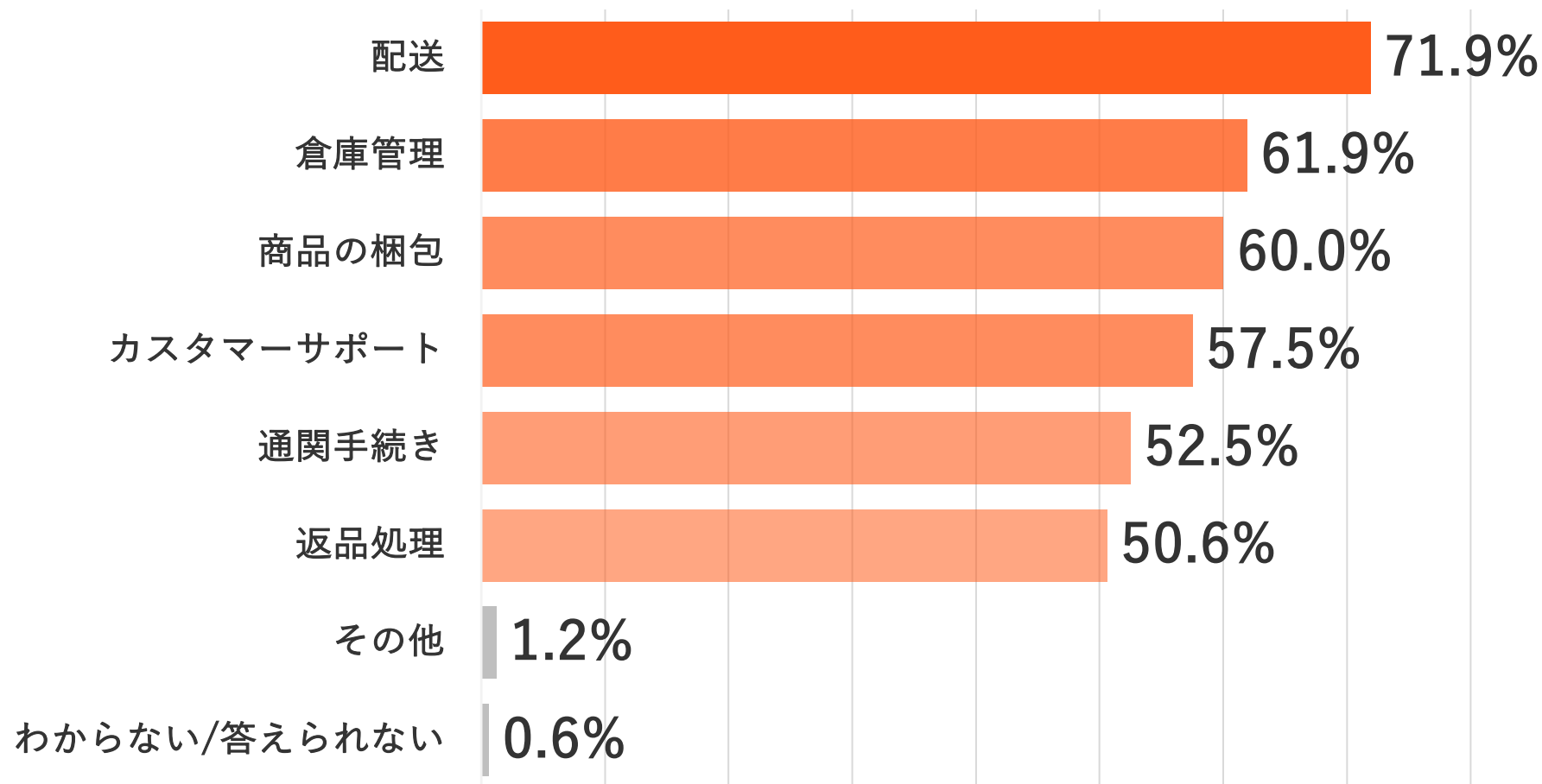


東南アジア越境ECでの商品の発送方法は、「現地に自社倉庫を構えて現地から購入者へ発送」（54.9%）が第1位でした。

Q7

※Q6で「物流業務を業者に委託し、国内倉庫から発送」「対象国に倉庫を持つ業者に委託し、現地から発送」と回答した方に質問

物流業務で委託している内容を教えてください。（複数回答）

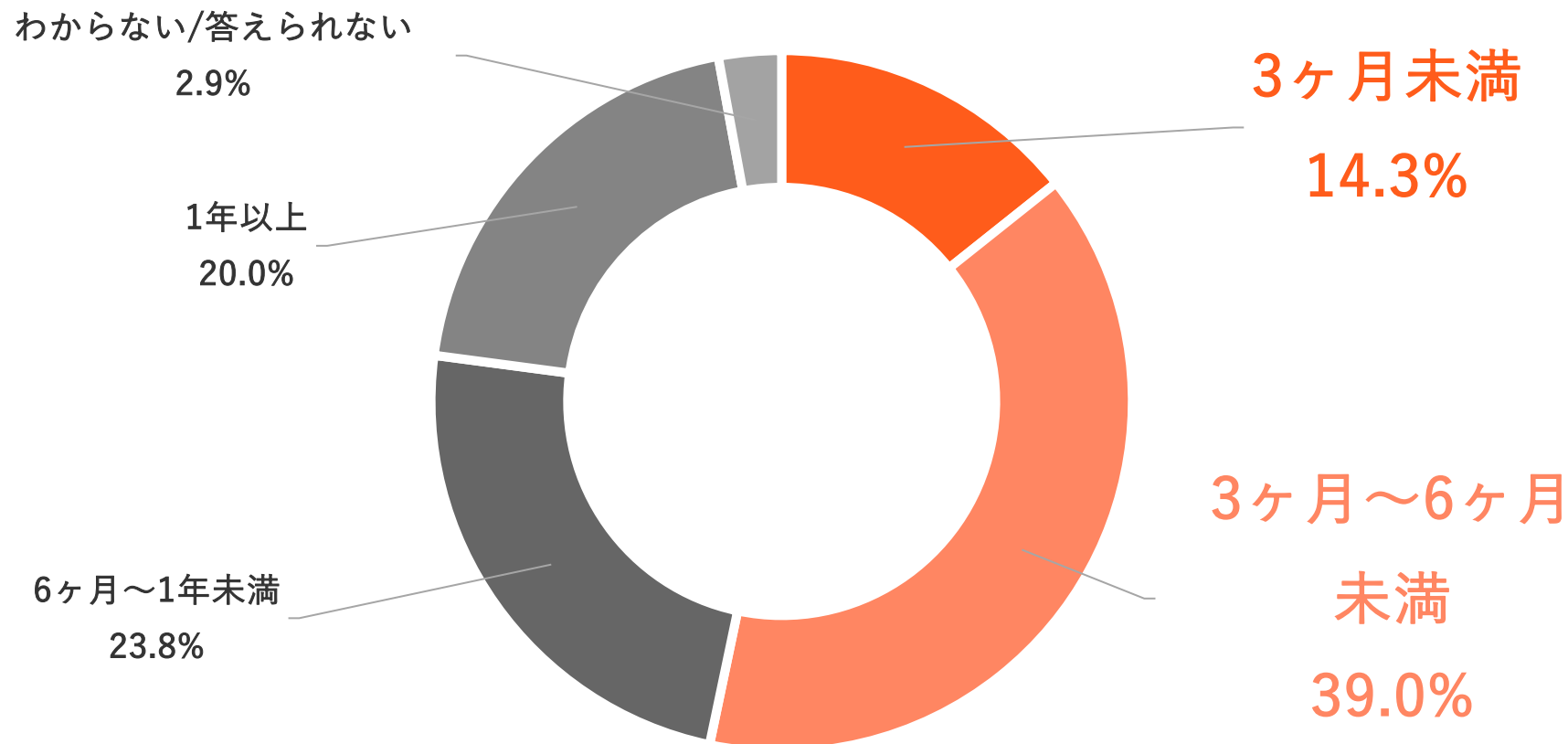


物流業務で委託している内容は、
「配送」が71.9%で最多でした。

Q8

※Q1で「実施している」と回答した方に質問

現在の物流体制を構築するのにどのくらいの期間を要しましたか。



現在の物流体制を構築するのに要した期間は、「3ヶ月未満」が14.3%、「3ヶ月～6ヶ月未満」が39.0%でした。

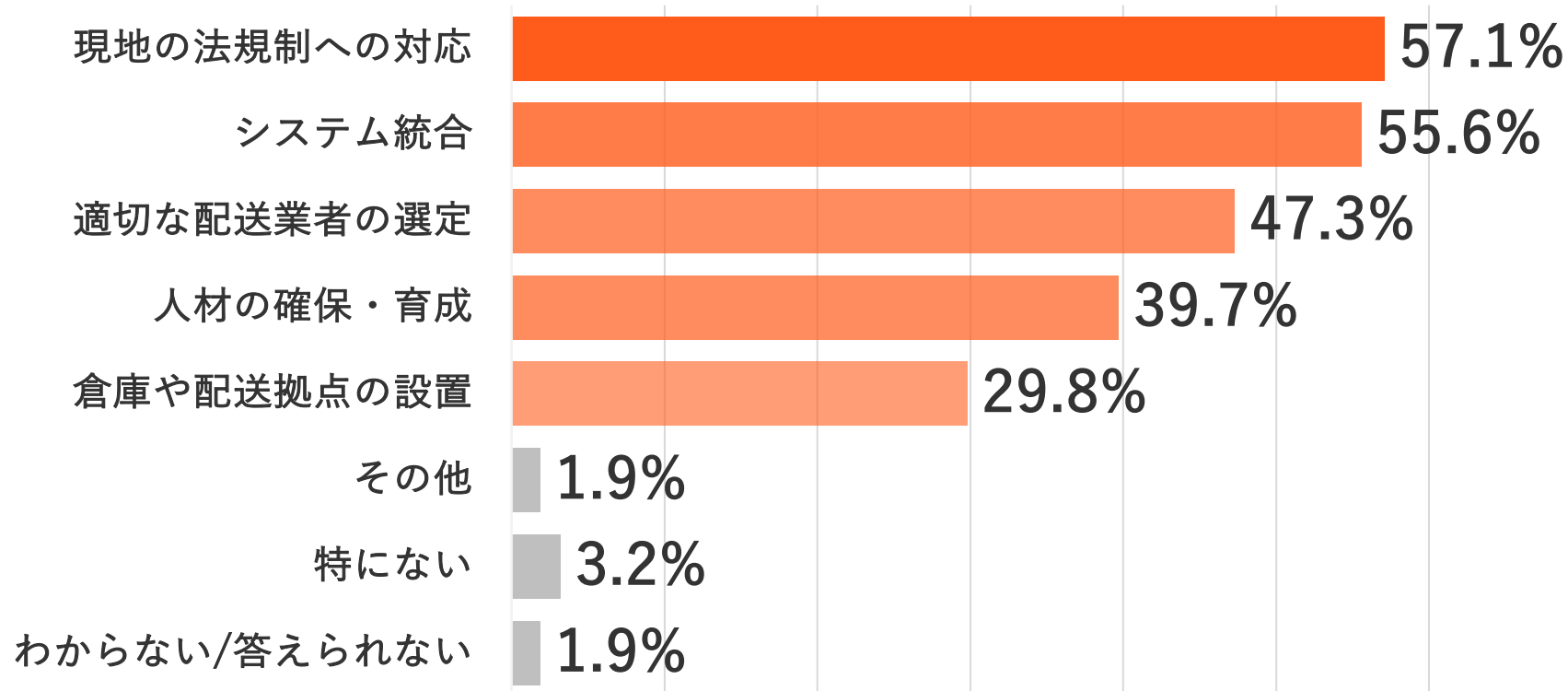
調査期間：2024年9月11日～同年9月12日

東南アジア越境ECでの物流管理に関する実態調査 | n=315

Q9

※Q1で「実施している」と回答した方に質問

現在の物流体制を構築するのに、時間を要した点を教えてください。
(複数回答)



現在の物流体制を構築するのに、時間を要した点は、「現地の法規制への対応」「システム統合」「適切な配送業者の選定」が上位となりました。

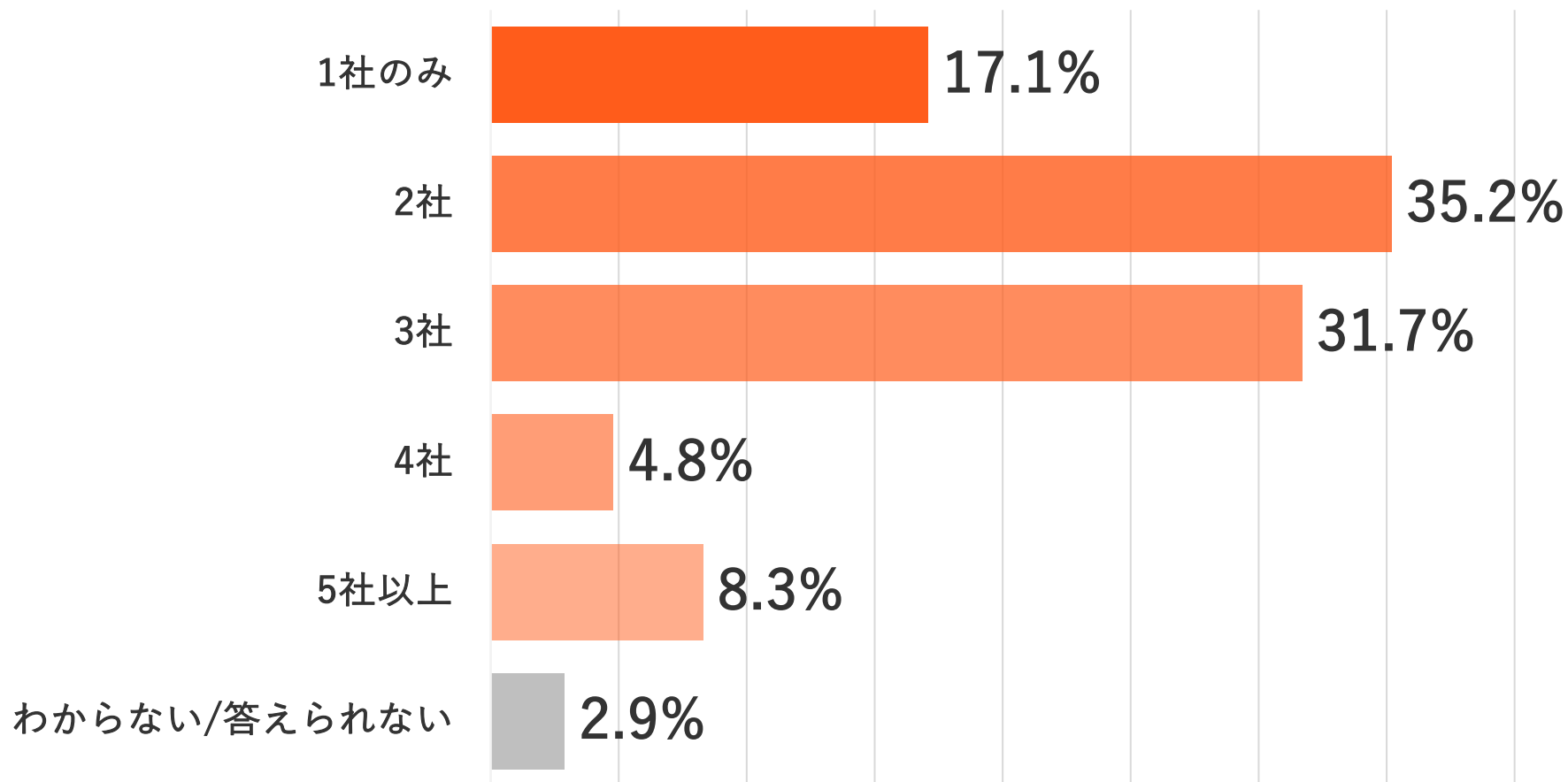
調査期間：2024年9月11日～同年9月12日

東南アジア越境ECでの物流管理に関する実態調査 | n=315

Q10

※Q1で「実施している」と回答した方に質問

現在利用している配送業者の数を教えてください。



現在利用している配送業者の数は、第1位が「2社」で35.2%、第2位が「3社」で31.7%、第3位が「1社」で17.1%でした。

調査期間：2024年9月11日～同年9月12日

東南アジア越境ECでの物流管理に関する実態調査 | n=315

「ショッピングジャパン」、越境販売のサポート地域を拡大！ ベトナムへの越境販売開始



物流面における負担や不安を軽減し、海外へビジネスを展開したい企業や、東南アジア・台湾をはじめとするブルーオーシャンの市場に参入したい企業にとって、越境ECは最適な選択肢であると考えています。ショッピングジャパンは越境ECに参入する日本の事業者向けに、SLS（Shopee Logistics Service）と呼ばれる独自の物流網から言語まで多様なサポートを提供し、急成長を続ける東南アジア・台湾の市場におけるオンライン販売を支援します。

この度、ベトナムにおける日本商品への高い需要に伴い、6番目の越境販売市場としてベトナムへの越境販売を開始しました。（ショッピングジャパンのサポート地域は、シンガポール・台湾・マレーシア・タイ・フィリピン・ベトナムの6つの市場になります。）

多くの事業者が越境ECについて抱える不安に対し、ショッピングジャパンは日本語のサポート体制、配送サポート、現地の商習慣の勉強会など、セラー向けのサポート体制を整備しております。

Contact

お問い合わせ

企業名

Shopee Japan株式会社

MAIL

support@shopeejapan.zendesk.com

WEB

<https://shopee.jp/>

会社住所

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル7階

xLINK丸の内